

航空宇宙流体科学サマースクール 2017 プログラム

2017年8月30日
2017年幹事 千葉一永

■記

- 期: 2017年9月7日(木)14:00 – 9(土)12:30
- 於: 裏磐梯レイクリゾート
 - 969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字湯平山1171-1
 - <http://www.lakeresort.jp>
 - 0241-37-1111
 - 会議場所: 2階 スカーレット*1
- 参加費: 初日現地受付でお支払い下さい.
 - 参加登録費: 一般 10,000円, 学生 6,000円
 - 宿泊費: 25,000円
2泊3日, 朝晩4食付, 税込. 一泊だけの場合 12,000円.
- 主催: 東北大学・鳥取大学・名古屋大学
共催: 東北大学流体科学研究所・Intelligent Light

*1 この部屋に発表会場もポスタ会場も入っています.

■プログラム

	9月7日(木)	9月8日(金)	9月9日(土)
09:30 – 11:30		PS II	OS I
14:30 – 16:30	PS I	networking	
20:15 – 21:45	NS I	NS II	

PS: Poster Session, OS: Oral Session, NS: Night Session.

● 9月7日(木)

- 14:00 – 14:05 世話人挨拶 (大林先生・川添先生・佐宗先生)
- 14:05 – 14:10 ホテル担当挨拶
- 14:10 – 14:25 参加者自己紹介
- 14:30 – 16:30 ポスタセッション I
 - * 14:30 – 14:45 フラッシュトーク
 - * 14:45 – 16:30 ポスター発表
 - (1) 石川 信之介 氏 (電気通信大院),
“気液二相流解析を用いたサーフボード底面形状が抗力に及ぼす影響調査”
 - (2) 菅野 寛喜 氏 (電気通信大院),
“光学カメラで生成された模擬デブリ画像の特徴点検出 -簡易的運動推定の実現を目指して-”
 - (3) 北原 圭一郎 氏 (豊田工業大),
“マイクロダクト内における超音速流れの特性に関する研究”
 - (4) 桑田 哲平 氏 (豊田工業大),
“感圧塗料の応答遅れ計測用衝撃波管の製作”
 - (5) 小松 竜郎 氏 (電気通信大院),
“ヨー方向回転自由度を有するフラップの空力効果”
 - (6) 佐野 正和 氏 (早稲田大),
“超音速インテークにおける非定常振動 (バズ) の数値的解析”
 - (7) 菅谷 圭祐 氏 (東京大院),
“簡易カットセル法を用いた2次元流体解析手法の検討”
 - (8) 仙田 裕紀 氏 (東北大院),
“高迎角時空気力取得に向けた 1-m 磁力支持天秤装置の改良”
 - (9) 高木 耀一 氏 (鳥取大院),
“アーク加熱風洞気流のエンタルピ決定法に関する研究”
 - (10) 田口 航太郎 氏 (東京大院),
“主翼上垂直舵翼の横の運動に関する空力特性”
 - (11) 橘 一輝 氏 (鳥取大院),
“プラズマアクチュエータ剥離抑制性能最適化への EGO 多数サンプル追加法の適用”
 - (12) 田中 一成 氏 (東北大院),
“磁力支持天秤装置を用いた超音速風洞試験における 6 軸制御技術の適用”
 - (13) 田村 丞 氏 (鳥取大院),
“コーナーに突起を持つ角柱周りの剥離流に関する研究”
 - (14) 辻村 光樹 氏 (早稲田大),

“粒子法 (MPS 法) を用いた気流下における液滴破壊現象の模擬”

(15) 山下 雄輝 氏 (名古屋大院),

“減速度の違いによる衝撃波形状の違いに関する実験”

- 16:30 - 16:40 部屋割案内 (幹事)
- 18:00 - 20:00 夕食
- 20:15 - 21:45 ナイトセッション I

相曾 秀昭 氏 (JAXA 航空技術部門 数値シミュレーション技術研究ユニット),

“数値計算のミクロとマクロ”

- 22:00 - 24:00*² 懇親会 I @広間
- 24:00 - xx:xx 懇親会 II @各部屋

● 9月8日 (金)

- 06:30 - 09:00 朝食

- 09:30 - 11:30 ポスタセッション II

* 09:30 - 09:35 フラッシュトーク

* 09:35 - 11:30 ポスター発表

(1) 玉置 義治 氏 (東京大院),

“直交格子・埋め込み境界法を用いた航空機周り乱流解析手法の開発と検証”

(2) 丹波 高裕 氏 (名古屋大院),

“乱流干渉が垂直衝撃波に及ぼす影響の定量評価”

(3) 前山 大貴 氏 (東京大院),

“格子ボルツマン法を用いた乱流解析に向けた検討”

(4) 三谷 奈々 氏 (名古屋大院),

“高速噴流を用いた非定常圧縮による遠隔高インパルスの発生”

(5) 山本 姫子 氏 (早稲田大院),

“圧縮性流れを対象とした Flamelet モデルの効率化”

- 11:30 - 18:00 昼食, 写真撮影, 交流会

- 18:00 - 20:00 夕食

- 20:15 - 21:45 ナイトセッション II

大林 茂 氏 (東北大学流体科学研究所 所長・教授),

“大学教員とは”

- 22:00 - 24:00 懇親会 III @広間

- 24:00 - xx:xx 懇親会 IV @各部屋

● 9月9日 (土)

- 06:30 - 09:00 朝食

- 09:30 - 11:30 オーラルセッション I

(1) 内山 貴啓 氏 (JAXA 航空技術部門 空力技術研究ユニット),

“JAXA 実験空力系の研究紹介”

(2) 大道 勇哉 氏 (JAXA 航空技術部門 数値シミュレーション技術研究ユニット),

“非定常大規模 CFD データのモード分解解析”

(3) 豊田 篤 氏 (Intelligent Light),

“エクサスケール CFD に向けたポストプロセス”

(4) 松尾 裕一 氏 (JAXA 航空技術部門), 河合 宗司 氏 (東北大学大学院 工学研究科),

“空力の未解決問題”

*² ホテル管理上, 広間消灯時間が 24:00 で決まっています.

- 11:45 - 12:20 連絡事項 (次回開催関連・PR)
- 12:20 - 12:25 ホテル担当挨拶
- 12:25 - 12:30 世話人挨拶

■連絡事項

● 発表

- 学生発表:

参加学生は自己紹介代わりに**全員**ポスタ発表をお願い致します。

* 事前 ToDo:

- ・フラッシュトーク用 PDF 提出.
- ・ポスタ作成, A0 で印刷.

* 当日 ToDo:

- (1) ポスタを持参し, フラッシュトーク前までに所定の場所に貼る*³.
- (2) セッション開始後, 始めに各自 1 分のフラッシュトークを行う.
フラッシュトーク用 PDF は繋げておきます. PC も幹事が準備致します.
- (3) その後ポスタの前で各自説明・議論する.
是非活発な議論をして頂き, 今後に繋がる本イベントになれば幸いです.

* 後日 ToDo:

- ・ Abstract 提出 (2017 年 9 月 29 日 (金) 〆切).

本サマースクールは**東北大学流体科学研究所平成 29 年度公募共同研究 (課題番号: J17I051)** に採択されました. よって, サマースクール終了後, エビデンスとして abstract (A4×1 枚) を御提出下さい. また, **Intelligent Light** から補助金を頂戴致しました.

“本発表には東北大学流体科学研究所平成 29 年度公募共同研究 (課題番号: J17I051) および Intelligent Light の助成を一部受けた.”, 英語なら “The presentation was partially supported by the Collaborative Research Project of the Institute of Fluid Science, Tohoku University (J17I051) and Intelligent Light.”などと**謝辞に上記助成を受けたことを記載下さい.**

部外秘データのある場合は, データを削除した研究概略だけで結構です.

- 社会人発表:

Oral session で適当に御発表下さい. 後日の Abstract 提出も不要です.

- ナイトセッション講演:

当日適当に御講演下さい. 後日の Abstract 提出も不要です.

*³ ホテル側が全て準備. 恐らくマグネットとのこと.